

平成28年度 大田区立入新井第四小学校 自己評価 報告書

○ 本校の概要

本校は、児童379名の中規模小学校です。平成26・27年度大田区教育研究推進校として、体育科の研究に取り組みました。今年度は、昨年度の成果と課題を受けて、引き続き体育科を中心に、お互いよさを認め合い、かわり合う中で、尊重し合う人間関係を育成することを目指してまいります。また、開校85周年を迎えるりあたり、運動会や音楽会などの学校行事に関連するようになり、平成29年1月21日は、大田区『体育・健康教育授業地区公開講座』を実施したりするなどして、体力向上を目指してまいります。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組及び今後の改善策	コメント
学 力 向 上	児童・生徒一人ひとりの学が意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々のコミュニケーション能力の育成等を図っている。 授業改善推進プランを、授業に生かす。 国語の漢字学習を漢字検定に生かす。	4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、80%以上であった。 3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、70%以上であった。 2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%以上であった。 1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「基礎学力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%未満であった。	4	学校評価アンケートの「子どもたちは、基礎学力がついている。」89.0% 昨年度は86.7%。 基礎学力の定着を目指して、授業改善プランや朝学習の取り組みをしている。また算数においては習熟度少人数や補習教室を行っているほか、ペーシックドリルの取組も評価できる。今後も学力の定着のさらなる発展を目指していく。	・外国人講師による授業は、子ども達が楽しそうで見ているも浮き浮きした。 ・土曜補習教室等も学力不足の児童が全員参加して補習を受けている。 ・宿題などは、どの程度の子供たちがきちんとこなせているのでしょうか。→88% ・教員が「働きかけている」「おおむねできた」という取り組み指標だけでは、学力が定着したかまでは「図れないと考えます。成果指標についても、保護者や地域の方の目線でどこまで評価できるかと考えます。もう少し適当な指標があるとよいです。
豊 かな 心 を 育 む	子ども一人ひとりの健全な自己肯定感・自己決定力を高め、未来への希望に満ちた豊かな人間性を育みます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。 あいさつ運動推進の取組を全学級実施した上で児童ボランティアを推進する。	4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、80%以上であった。 3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、70%以上であった。 2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%以上であった。 1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「挨拶をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%未満であった。	2	挨拶の活動を数年行っているが、徐々に数字は上がって昨年79.8%から90.2%になった。今後も継続してあいさつの活動を行い、また、地域や家庭とも連携して、規範意識を向上させるための方策を考え、実施していく。	・大幅な数値の向上は、とても素晴らしいことです。 ・成果指標が「4」と評価が高いのは、あいさつ運動のたまものであると思います。私自身は朝は忙しく参加することができていませんが、地域行事や学校行事への参加を通じて、少しでも児童の顔を覚え、あいさつできる状況をつくっていきたくです。 ・あいさつ運動は続けてください。 ・先生方の熱心さに頭が下がります。朝の声掛け、子どもとの関わり等、民生児童委員としても信頼関係が築かれ、一層努力いたします。 ・毎日、朝のあいさつ運動に参加していますが、児童からあいさつをする子どもが増えてきました。学校以外の地域でも挨拶をしてくれる児童が増えました。 ・あいさつは、自他の心を豊かにする手立てをして極めて大切である。本校の取組をさらに続けていただきたい。(大人があいさつのシャワーを子供たちに)
体 力 向 上	子ども一人ひとりの身体活動量を増加させて意欲や気力の元となる総合的な体力を育みます。	新体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実践する。 「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらった「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。 体力向上モデル校として、体力向上の取り組みを実施する。(体育朝会・休み時間の活性化・公開講座への取組等)	4: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、80%以上であった。 3: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、70%以上であった。 2: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%以上であった。 1: 保護者や地域の方による学校評価アンケート「基礎体力がついている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%未満であった。	4	校内研究では体育学習を通して、また、体力向上モデル校としては、休み時間を活用した体力向上の取り組みを行っている評価を90.2%であった。今後も体力向上のための取組を工夫して基礎体力をつけていく。	・子ども達も楽しそうに取り組んでいる様子で、よいと思います。 ・体育の研究に取り組んでいる甲斐があって、体力向上の取組は、充実していると思います。スポーツチームに所属して運動習慣のある児童だけでなく、児童全体の基礎体力の底上げができています。だと受け取りました。 ・授業開始まで校庭で遊ぶ児童は素晴らしい結果になっている。 ・インフルエンザの児童が少ない。 ・朝食を食べていない子供がいるということにショックを受けました。運動はがんばってよいと思います。効果あり。 授業にダブルタッチを取り入れたり、色々な工夫をして体力向上を目指していると感じています。マラソン大会を開催する等素晴らしい取り組みをたくさんしています。
教 育 環 境 向 上	教員の指導力向上、施設の整備や講師・支援員の配置などの学校サポート体制の充実に取り組み、学習環境の向上を図ります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種研究発表会等の研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 外国語活動やその他の教育活動で、保護者や地域によるボランティアの活用を充実させる。	4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」に対して「あてはまる」以上の評価が、80%以上であった。 3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%以上であった。 2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」に対して「あてはまる」以上の評価が、50%以上であった。 1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」に対して「あてはまる」以上の評価が、50%未満であった。		学校評価アンケート「子どもたちにとって分かりやすい授業をしていた。」で97.1%であった。教員は児童の学力を身に付けられるように工夫して授業改善を行っている。校内研究や指導教諭 模擬授業参観など、研修を熱心に行い、指導力を向上させていく。	・公開授業などでも、子供たちの落ち着いた様子を目にしています。 ・取組指標、成果指標ともよい数字が出ているので、今後ともわかりやすく児童たちの興味をひく授業ができるように努めていただければと思います。学校公開時に気になるのは、調べ学習の発表の場面で声が小さな児童が多いことです。大きな声でプレゼンできるような指導もあるとよいと考えます。 ・授業公開日は沢山の方々が参加されていて素晴らしい。先生の声もはっきりとして聴きやすく公開日が楽しみになっています。授業公開日に各学級の授業を拝見させていただき児童がみんな生き生きと元気に授業を受けている姿を見て感心いたしました。 ・子どもと教師が一体となった「授業力」の向上こそが、学校の「教育力」の充実の核と考える。
家 庭 ・ 地 域 の 教 育 力 向 上	学校・家庭・地域の果たすべき役割や責任を明らかにするとともに相互の連携を深め、地域とともに子どもを育てる仕組みをつくりまします。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の姿等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実施する。 スクールサポートいりしのボランティア人数を増やし、地域とともに学校運営を支援していく。	4: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「スクールサポートいりしを活用した教育活動をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、80%以上であった。 3: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「スクールサポートいりしを活用した教育活動をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、70%以上であった。 2: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「スクールサポートいりしを活用した教育活動をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%以上であった。 1: 保護者や地域の方による学校評価アンケートの「スクールサポートいりしを活用した教育活動をしている」に対して「あてはまる」以上の評価が、60%未満であった。	4	学校評価アンケート「スクールサポートいりしを活用した教育活動をしている」で、外部の人材活用に取り組んでいる。」で昨年度の92%から94.2%に上がった。スクールサポートいりしの活用だけでなく、サマースクールを中心に、保護者や地域が教育活動に関心が高く、また協力的であるので、今後も地域力を生かして教育活動を展開していく。	・ホームページや通信、地域教育連絡協議会での情報提供など、工夫がなされていてよいと思います。ボランティア参加をする保護者は、仲の良い親仲間がいるなど、コミュニティをもっているからだとお思いますので、そういったコミュニティとスクールサポートのつながりをさらに深めるとよいと考えます。 ・夏休み中の毎日の活動は素晴らしい。 ・地域と学校が一体化になっていることが分かります。学校が開かれていることがわかり素晴らしいです。 ・学校、保護者、地域(町会)が一体となり、子ども達のサポートをしていると感じます。 ・新たな人材発掘は、難しい課題です